

審査意見への対応を記載した書類（6月）

（目次） 看護学科

1. 設置の趣旨に「本看護学科は地元創成看護の理念を標榜している」とあることや養成する人材像に「地元創生看護学の創出に寄与する看護職を養成する。」とあることから、「地元創生看護学」は本学科にとって、極めて重要な位置づけであると見受けられるが、ディプロマ・ポリシーにおいて「地元創成看護学」又はそれに関連する記載がなく、養成する人材像とディプロマ・ポリシーとの整合性について疑義がある。このため、養成する人材像とディプロマ・ポリシーとの整合性について説明するとともに、必要に応じて適切に改めること。（是正事項）・・・3
2. シラバスについて、各授業科目における「ディプロマ・ポリシーとの関連やカリキュラム上の位置付け」に関する記載があるが、例えば、「情報科学」では、ディプロマ・ポリシーの1. から4. 及びカリキュラム・ポリシーの1. と4. に関連しているとしているものの、授業内容は、ホームページの閲覧や日本語ワープロ等の利用技術を身につけるものであり、ディプロマ・ポリシー2. の「豊かな感性を持ち人間の生命と尊厳を守り、知識・技術・態度を統合して看護を実践できる。」やカリキュラム・ポリシー4. の「模擬患者との演習を通して、看護援助場面におけるコミュニケーション能力を育み、学修した知識を応用する演習環境を整備する。」とどのように関連するのかが明確でない。このため、シラバスに記載する「ディプロマ・ポリシーとの関連やカリキュラム上の位置付け」と授業科目の内容との関係を網羅的に確認の上、必要に応じて適切に改めること。（是正事項）・・・4
3. 学科の特色として、学内演習授業にシミュレーション教育を積極的に取り入れるとしており、カリキュラム・ポリシーでも「3. 科学的根拠および学習経験に基づき、主体的に学習するシチュエーション・ベースド・ラーニングを取り入れたシミュレーション教育を推進する。」、「4. 模擬患者との演習を通じて、看護援助場面におけるコミュニケーション能力を育み、学修した知識を応用する演習環境を整備する。」と定めている。模擬患者やファシリテーターについては学科の特色として言及され、教育課程においても重要な役割を果たすものと見受けられるが、これらの人材については養成講座で養成するとあるのみであり、一定の質を確保するための具体的な養成の内容や体制、養成する人数等が不明である。このため、模擬患者やファシリテーターについての具体的な養成の内容や体制、養成する人数等について具体的に説明すること。（改善事項）・・・6
4. 教員の担当予定授業科目がおおむね10科目程度から最大17科目と多く、授業科目を受け持ちながら、臨地実習の指導も担っているため、教員の負担や教育研究の質の観点から実現可能な計画となっているかどうかについて疑義がある。担当授業科目が最も多い専任教員を例に、担当する授業の時間割や授業内容等を踏まえたシミュレーションを示して具体的に実現可能な計画となっていることを説明するとともに、必要に応じて適切に改めること。（改善事項）・・・8
5. 専任教員の年齢構成が高齢に偏っていることから、教育研究の継続性の観点から、若手教員の採用計画など教員組織の将来構想を明確にすること。（改善事項）・・・9

6. 校地校舎等の図面について、学生自習室が確認できる校舎の平面図が示されていないため、資料を提出すること。(是正事項) ……11
- ※ 教員審査の結果、授業科目の判定で不可および保留を受けた場合の対応について。 ……12

(是正事項) 看護学科

1. 設置の趣旨に「本看護学科は地元創成看護の理念を標榜している」とあることや養成する人材像に「地元創生看護学の創出に寄与する看護職を養成する。」とあることから、「地元創生看護学」は本学科にとって、極めて重要な位置づけであると見受けられるが、ディプロマ・ポリシーにおいて「地元創成看護学」又はそれに関連する記載がなく、養成する人材像とディプロマ・ポリシーとの整合性について疑義がある。このため、養成する人材像とディプロマ・ポリシーとの整合性について説明するとともに、必要に応じて適切に改めること。

(対応)

設置の趣旨の中で、「本学看護学科は、地元創成看護の理念を標榜し、地元創成看護学の創成に寄与する看護職者を養成する。」と述べており、「地元創成看護学」は極めて重要な位置を占めている。ディプロマ・ポリシー5の中の「地域の人々と連携、協働し」という内容に「地元創成」の意味を含めより明確な表現にした。そこでディプロマ・ポリシー「5. 保健医療介護福祉の課題に取り組む地域の人々と連携・協働する能力を身につけている。」を「保健医療介護福祉の課題に取り組む地域の人々と連携・協働し、地元創成に貢献する能力を身につけている。」に修正した。この修正によって「地元創成看護学の創出に寄与する看護職を養成する」という意味がより明確に表現された。また、アドミッションポリシーの2「地元十勝を含む道東圏を中心に、将来看護師として地域の保健医療介護福祉に貢献する意志のある人」との関連が分かりやすくなった。

(新旧対照表) 看護学科ディプロマ・ポリシー

新	旧
1. 保健医療介護福祉組織のチーム活動に必要なコミュニケーション能力を身につけている。	1. 保健医療介護福祉組織のチーム活動に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
2. 豊かな感性を持ち人間の生命と尊厳を守り、知識、技術、態度を統合して看護を実践できる。	2. 豊かな感性を持ち人間の生命と尊厳を守り、知識、技術、態度を統合して看護を実践できる。
3. 科学的根拠に基づき臨床推論し、看護の対象に合わせて創意工夫、応用できる。	3. 科学的根拠に基づき臨床推論し、看護の対象に合わせて創意工夫、応用できる。
4. 看護の使命と倫理観に基づき看護専門職として自己研鑽を継続できる。	4. 看護の使命と倫理観に基づき看護専門職として自己研鑽を継続できる。
5. 保健医療介護福祉の課題に取り組む地域の人々と <u>連携・協働し、地元創成に貢献する能力を身につけている。</u>	5. 保健医療介護福祉の課題に取り組む地域の人々と連携・協働する能力を身につけている。
6. 国や民族、性別の枠を超えて多様な文化や価値観を受け入れ、国際的な健康課題を理解することができる。	6. 国や民族、性別の枠を超えて多様な文化や価値観を受け入れ、国際的な健康課題を理解することができる。

(是正事項) 看護学科

2. シラバスについて、各授業科目における「ディプロマ・ポリシーとの関連やカリキュラム上の位置付け」に関する記載があるが、例えば、「情報科学」では、ディプロマ・ポリシーの1. から4. 及びカリキュラム・ポリシーの1. と4. に関連しているとしているものの、授業内容は、ホームページの閲覧や日本語ワープロ等の利用技術を身につけるものであり、ディプロマ・ポリシー2. の「豊かな感性を持ち人間の生命と尊厳を守り、知識・技術・態度を統合して看護を実践できる。」やカリキュラム・ポリシー4. の「模擬患者との演習を通して、看護援助場面におけるコミュニケーション能力を育み、学修した知識を応用する演習環境を整備する。」とどのように関連するのかが明確でない。このため、シラバスに記載する「ディプロマ・ポリシーとの関連やカリキュラム上の位置付け」と授業科目の内容との関係を網羅的に確認の上、必要に応じて適切に改めること。

(対応)

ご指摘の通り、シラバスの内容とカリキュラム・ポリシー（以下 CP とする）およびディプロマ・ポリシー（以下 DP とする）の一部と関連していない箇所がみられた。審査意見を踏まえて、全 83 科目のシラバスの内容とカリキュラム上の位置づけを科目ごとに見直し、CP との関連を修正した。さらに、CP との関連を修正した科目と DP との整合性を確認し、最終的に修正内容について網羅的に確認、修正を行った（資料 1）。

資料 1 は、全 83 科目の授業科目の修正前、修正後の CP、修正前、修正後の DP を示している。本学看護学科の CP および DP を表 1、表 2 に示す。

<表 1 看護学科カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）>

1. 学生が、建学の精神（親鸞聖人の教え）を学ぶことにより豊かな人間性を涵養し、総合的な思考力や判断力、表現力を培い、地域社会に貢献する人間となるために共通教養科目（初年次教育、キャリア教育を含む）を設置する。
2. 多様な暮らしを営む人々の視点に立って考え判断する能力を育成するために、看護のすべての場面に倫理的問いがあることを繰り返し学習する授業デザインとする。
3. 科学的根拠および経験学習に基づき、主体的に学習するシチュエーション・ベースド・ラーニングを取り入れたシミュレーション教育を推進する。
4. 模擬患者との演習を通して、看護援助場面におけるコミュニケーション能力を育み、学修した知識を応用する演習環境を整備する。
5. 保健医療介護福祉組織の一員としての役割・責務を果たすために必要なマネジメントを学修する実習環境を整備する。
6. 国際的な視野を持ち、国や民族・性別の枠を超えて多様な文化における健康課題を学ぶ教材を提供する。

<表2 看護学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）>

<ol style="list-style-type: none">1. 保健医療介護福祉組織のチーム活動に必要なコミュニケーション能力を身につけている。2. 豊かな感性を持ち人間の生命と尊厳を守り、知識、技術、態度を統合して看護を実践できる。3. 科学的根拠に基づき臨床推論し、看護の対象に合わせて創意工夫、応用できる。4. 看護の使命と倫理観に基づき看護専門職として自己研鑽を継続できる。5. 保健医療介護福祉の課題に取り組む地域の人々と連携・協働し、地元創成に貢献する能力を身につけている。6. 国や民族、性別の枠を超えて多様な文化や価値観を受け入れ、国際的な健康課題を理解することができる。
--

科目の分野ごとにシラバスとCPとDPとの関連を見直した。基礎分野は、豊かな人間性を高める教養科目とコミュニケーションスキルの獲得を中心とした科目から成り立っており、専門分野の基盤となる看護実践に必要な基礎的知識を修得する科目であることから、CP1またはCP1、4、6を基本とした。専門基礎分野は、看護学の学際領域の基礎的知識を学ぶ科目である。専門基礎分野の「人体の構造と機能」および「疾病の成り立ちと回復の促進」は、看護実践の基盤となる臨床推論・臨床判断に関わる基礎的知識を修得する科目であり、CP2、6を基本とした。また、「健康支援と社会保障制度」は、多様な看護実践に活かす基礎的知識を修得する科目であり、CP2、5、6を基本とした。専門分野および専門基礎分野の科目と関連するCPの変更に合わせてDPを1、2、4または2、4を基本に変更した。

専門分野は、看護学を構成する概念である人間、環境、健康、看護の理解を基盤として、科学的検証過程を踏まえて看護の対象となる人に必要な看護実践能力を修得する科目である。各概論は、看護実践の基本となる専門基礎知識・技術、クリティカルシンキング、倫理的態度を自ら探求する能力を養う科目であり、CP2、5、6を基本とした。領域ごとの看護技術論は、シミュレーション教育を軸とし、看護の基盤となる基礎的理論と知識技術を使って臨床推論する能力を育成する演習科目であり、CP2、3、4を基本とした。看護学実習は、講義および演習で修得した知識・技術・態度を統合し実践する科目であり、CP2、5、6を基本とした。専門分野の科目と関連するCPの変更に伴い、関連するDPを見直した。専門分野では、「基礎分野」「専門基礎分野」で学んだ知識を応用し、看護実践の基盤となる看護学を学ぶ。卒業時に修得している能力だけではなく、卒業後、自分自身で物事を考え組み立て、学修した知識・技術を統合していく能力を育成する科目で構成されていることから、DP全体に関連すると考え、DP1～6またはDP1～5を基本とした。

【資料1】シラバスとカリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーとの関連

(改善事項) 看護学科

3. 学科の特色として、学内演習授業にシミュレーション教育を積極的に取り入れるとしており、カリキュラム・ポリシーでも「3. 科学的根拠および学習経験に基づき、主体的に学習するシチュエーション・ベースド・ラーニングを取り入れたシミュレーション教育を推進する。」、「4. 模擬患者との演習を通じて、看護援助場面におけるコミュニケーション能力を育み、学習した知識を応用する演習環境を整備する。」と定めている。模擬患者やファシリテーターについては学科の特色として言及され、教育課程においても重要な役割を果たすものと見受けられるが、これらの人材については養成講座で養成するとあるのみであり、一定の質を確保するための具体的な養成の内容や体制、養成する人数等が不明である。このため、模擬患者やファシリテーターについての具体的な養成の内容や体制、養成する人数等について具体的に説明すること。

(対応)

本学では学内演習授業にシミュレーション教育を積極的に取り入れており、学科の特色でありかつ教育課程においても模擬患者やファシリテーターは重要な役割を果たすものである。模擬患者とファシリテーターの具体的な養成内容、体制、人数等については、以下に資料と内容を示した。

1. 模擬患者ボランティアの養成について

1) 養成の内容と体制

模擬患者ボランティアは、シナリオに沿ったリアルな演技で臨地実習に近い環境や状況をつくる教材の役割である。学内演習は、専任教員、ファシリテーターと共に、事前打ち合わせを行ってすすめる。

模擬患者ボランティアとの連絡調整窓口は、帯広大谷短期大学地域連携推進センター地域連携室に担当者を置く。

演習に必要な知識や技術の研修と安全管理・健康管理は、ボランティア保険及び看護学科に担当部署を置き専任教員が担う。

学生の成長を見守りながら長く育成に関わり、やりがいにつながるプログラムとする。企画案、研修内容、募集要項その他の募集に係る資料は、別紙添付する（資料2）。

2) 人数

学内演習に必要な人数は、一回に最大 8 人であるがボランティアとして登録していただく体制として1年間に延べ20人を養成する。募集は、本学同窓会の会員へ情報提供して協力していただく方法と、帯広市や音更町の広報誌を活用する。登録期間は一年間とし、再登録は妨げない。また、1年生が卒業するまでの3年間は可能な限り再登録していただく。

2. ファシリテーターの養成について

1) 養成の内容と体制

専任教員とともに、シミュレーション教材の作成、演習の計画立案運営、演習科目の準備と授業補助、模擬患者養成講座における演習補助等の役割を担う。また、専任教員の指導のもと、臨地実習での実習インストラクターの役割を担う。

ファシリテーターは、臨床経験豊富な看護師で学生の育成に関心のある人を、公募または実習病院等からの紹介により採用する。年齢の制限は設けないが、継続して貢献していただくために、例えば病院を定年退職した看護師等を想定している。

研修は、①集団研修と②職場内研修の2段階で実施する。研修プログラムは、別紙添付する（資料3）。

2) 人数

研修は15名程度を対象に行い、2023年度は3～5名の採用とする。可能であれば数年間、継続していただく。

【資料2】 模擬患者ボランティアの養成に関する資料

【資料3】 ファシリテーターの研修内容

(改善事項) 看護学科

4. 教員の担当予定授業科目がおおむね 10 科目程度から最大 17 科目と多く、授業科目を受け持ちながら、臨地実習の指導も担っているため、教員の負担や教育研究の質の観点から実現可能な計画となっているかどうかについて疑義がある。担当授業科目が最も多い専任教員を例に、担当する授業の時間割や授業内容等を踏まえたシミュレーションを示して具体的に実現可能な計画となっていることを説明するとともに、必要に応じて適切に改めること。

(対応)

教員の担当予定授業科目がおおむね 10 科目程度から最大 17 科目と多く、授業科目を受け持ちながら、臨地実習の指導も担っているため、教員の負担や教育研究の質の観点から実現可能な計画となっているかどうか検討し、シミュレーションを行った。

資料 4 は、担当授業科目の最も多い教員を例に、完成年度である令和 7 年度において、各学年での臨地実習、演習、講義計画をカレンダーにまとめシミュレーションし、年間計画が実現可能かどうか検証したものである。シミュレーションの結果、学内講義や演習、実習指導は適正に配置可能であることが確認され、教育研究の質の点においても概ね週 1 日の研究日が設定可能である。

ただし、専任教員が平均的に担当科目数の多い傾向にあることはご指摘のとおりであり、検討を行った結果、専任教員 2 名（講師）を追加し、専任教員全体の担当予定授業科目を見直し、最大 15 科目に改善することとした。

【資料 4】令和 7 年度 学内授業・臨地実習計画表

(改善事項) 看護学科

5. 専任教員の年齢構成が高齢に偏っていることから、教育研究の継続性の観点から、若手教員の採用計画など教員組織の将来構想を明確にすること。

(対応)

ご指摘のとおり、教員の年齢構成が高齢に偏っている。本学の定年は63歳であり、完成年度までに63歳を超える4名の教員については、補任採用を順次滞りなく行う。加えて、完成年次に63歳以下の教員については学内昇任を行う。具体的には、表3及び表4に示すとおり、計画的に行う。

また、教育研究の継続性を踏まえて、内部の若手教員の研究指導を積極的に行い、学内昇任へとつなげる。表5は、本学看護学科の専任教員の採用計画一覧である。さらに6名の助手の採用を予定しており、将来的に各看護領域を担う教員としての昇任がなされるよう支援を行っていく。また、そのためのFD研修活動にも力を入れる予定である。

<表3 完成年度以降の教授陣の補任採用計画>

(1)基礎看護学領域 教授2名の後任	令和8年度から 公募等により教授または准教授2名を採用予定
(2)専門基礎分野 教授1名の後任	令和8年度から 公募等により教授または准教授1名を採用予定
(3)精神看護学領域 教授1名の後任	令和8年度から 公募等により教授または准教授1名を採用予定

<表4 完成年度後の定年教員補充計画>

No.	氏名	就任時 年齢	完成年 度年齢	着任年 月日	定年年 月日	定年年 齢	教員補充 に関わる 活動	後任者 着任予 定年度
1	山川京子	73	76	令和5 年4月 1日	令和8 年3月 31日	76	公募な どによ り教授 または 准教授 の採用	令和8 年4月
2	大森行雄	71	74	令和5 年4月 1日	令和8 年3月 31日	74	公募な どによ り教授 または 准教授 の採用	令和8 年4月

3	石崎智子	71	73	令和5年4月1日	令和8年3月31日	73	公募などにより教授または准教授の採用	令和8年4月
4	大野夏代	60	63	令和5年4月1日	令和8年3月31日	63	公募などにより教授または准教授の採用	令和8年4月

<表5 帯広大谷短期大学看護学科専任教員の採用計画一覧>

No.	職位	担当領域	氏名	年齢 (就任時)	就任時期
1	教授	基礎看護学	山川 京子	73	令和5年4月
2	教授	精神看護学	石崎 智子	71	令和6年4月
3	教授	専門基礎	大森 行雄	71	令和5年4月
4	教授	基礎看護学	大野 夏代	60	令和5年4月
5	准教授	地域・在宅看護論	正保 里恵子	59	令和5年4月
6	講師	成人看護学	佐藤 千秋	59	令和5年4月
7	講師	小児看護学	高塚 富士美	59	令和5年4月
8	講師	老年看護学	天谷 美紀	45	令和5年4月
9	講師	成人看護学	彌富 祐樹	40	令和5年4月
10	助教	基礎看護学	内海 優子	46	令和5年4月

(是正事項) 看護学科

6. 校地校舎等の図面について、学生自習室が確認できる校舎の平面図が示されていないため、資料を提出すること。

(対応)

ご指摘のとおり、提出した校地校舎等の図面 (4) 校舎の平面図には学生自習室が明示されていなかったことから、資料5のとおり (4) 校舎の平面図を修正し、学生自習室を追加した。

これまで本学では、主にゼミ指導で利用している演習室 (校舎4階の401、402、403演習室) が空き教室となっている時間が多いことから、学生の自習室として積極的に開放してきたが、看護学科設置に伴い、4階の現看護学科設置教員室を学生自習室として割り当てる計画である。

【資料5】校地校舎等の図面 (4) 校舎の平面図

(教員審査) 看護学科

教員審査の結果、授業科目の判定で不可および保留を受けた場合の対応について。

(対応)

- (1) 大森行雄教授が当初担当予定であった地元創成看護論演習・実習の判定が「保留」(兼任補充可)であり、新たに採用予定の五十嵐友子講師が担当する。
- (2) 天谷美紀講師が当初担当予定であった老年看護学概論の判定が「不可」(専任補充)であり、正保里恵子准教授と新たに採用予定の五十嵐友子講師でオムニバス方式にて担当する。また、老年看護学技術論Ⅰ・Ⅱの判定が「不可」(兼任補充可)であり、新たに採用予定の五十嵐友子講師が担当する。
- (3) 高塚富士美講師、天谷美紀講師、彌富祐樹講師が当初担当予定であった研究方法論の判定が「不可」(専任補充)であり、新たに採用予定の五十嵐友子講師、田中純講師が担当する。この科目については専任教員が分担して担当しており、今回は業績不足という理由から不可となっている。そのために、業績十分な他の教員で分担してこの科目を担当するのでその負担は少ない。
- (4) 内海優子助教が当初担当予定であった医療安全学の判定が「保留」(専任補充)であり、山川京子教授が科目の一部を担当する。

(新旧対応表) 教員組織に関する事項

新	旧
(地元創成看護論演習) <u>五十嵐友子</u>	(地元創成看護論演習) 大森行雄
(地元創成看護論実習) <u>五十嵐友子</u>	(地元創成看護論実習) 大森行雄
(老年看護学概論) <u>五十嵐友子</u> 、 <u>正保里恵子</u>	(老年看護学概論) 天谷美紀
(老年看護学技術論Ⅰ) <u>五十嵐友子</u>	(老年看護学技術論Ⅰ) 天谷美紀
(老年看護学技術論Ⅱ) <u>五十嵐友子</u>	(老年看護学技術論Ⅱ) 天谷美紀
(研究方法論) <u>田中純</u> <u>五十嵐友子</u>	(研究方法論) 高塚富士美 天谷美紀 彌富祐樹
(医療安全学) <u>山川京子</u> 、 <u>内海優子</u>	(医療安全学) 内海優子

審査意見への対応を記載した書類（6月） 資料

目 次

資料1	シラバスとカリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーとの関連	・・・ 2
資料2	模擬患者ボランティアの養成に関する資料	・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
資料3	ファシリテーター研修内容	・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
資料4	令和7年度 学内授業・臨地実習計画表	・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
資料5	校地校舎の平面図（4）校舎の平面図	・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

資料1 シラバスとカリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーとの関連

No.	科目	新 CP	旧 CP	新 DP	旧 DP
1	思考と表現	1	1,4	1,2,4	1,2,3,4,5
2	哲学	1,2,6	1,2,3,6	2,4	1,2,3,4,6
3	倫理学	変更なし	1,2,4,5,6	1,2,4	1,2,3,4,5,6
4	物理学	1	1,4	2,4	1,2,3,4
5	生物学	1	1,2,4,6	2,4	1,2,3,4
6	情報科学	1,6	1,4	2,4	1,2,3,4
7	人間学	1	1,4,6	2,4	1,2,3,4,5,6
8	憲法	1,6	1,5,6	2,4,6	1,2,3,4,5,6
9	現代社会ととち	変更なし	1,4,6	2,4	1,2,3,4,5,6
10	英語 I	変更なし	1,4,6	1,2,4	1,2,3,4,5,6
11	英語 II	変更なし	1,4,6	1,2,4	1,2,3,4,5,6
12	英語コミュニケーション	変更なし	1,4,6	1,2,4	1,2,3,4,5,6
13	手話の世界	変更なし	1,4,6	1,2,4	1,2,3,4,5,6
14	体育実技	1,5,6	1,2,4,5,6	2,5,6	1,2,3,4,5,6
15	形態機能学 I	2,6	2,4,5,6	2,4	1,2,3,4,5,6
16	形態機能学 II	2,6	2,4,5,6	2,4	1,2,3,4,5,6
17	生化学	2,6	2,4,5,6	2,4	1,2,3,4,5,6
18	微生物・ウイルス・免疫学	2,6	2,4,5,6	2,4	1,2,3,4,5,6
19	臨床薬理学	2,6	2,4,5,6	2,4	1,2,3,4,5,6
20	臨床栄養学	2,6	2,4,5,6	2,4	1,2,3,4,5,6
21	病態生理学	2,6	2,4,5,6	2,4	1,2,3,4,5,6
22	診断治療学 I (呼吸・循環)	2,6	2,4,5,6	2,4	1,2,3,4,5,6
23	診断治療学 II (消化器・内分泌)	2,6	2,4,5,6	2,4	1,2,3,4,5,6
24	診断治療学 III (外科系疾患)	2,6	2,4,5,6	2,4	1,2,3,4,5,6
25	診断治療学 IV (頭頸部・感覚器)	2,6	2,4,5,6	2,4	1,2,3,4,5,6
26	診断治療学 V (産科学・小児科学)	2,6	2,4,5,6	2,4	1,2,3,4,5,6
27	診断治療学 VI (血液・自己免疫・精神・老年医学)	2,6	2,4,5,6	2,4	1,2,3,4,5,6
28	リハビリテーション論	2,6	2,3,4,5,6	2,4	1,2,3,4,5,6
29	口腔保健論	2,6	2,3,4,5,6	2,4	1,2,3,4,5,6
30	公衆衛生学	2,5,6	2,4,5,6	2,4	1,2,3,4,5,6
31	社会福祉学	2,5,6	2,3,4,5,6	2,4,5	1,2,3,4,5,6
32	社会保障制度論	2,5,6	2,4,5,6	2,4,5	1,2,3,4,5,6
33	保健医療福祉連携論	2,5,6	2,3,4,5,6	2,4,5	1,2,3,4,5,6

34	看護学概論	2,5,6	1,2,3,4,5,6	変更なし	1,2,3,4,5,6
35	援助の人間関係論	2,4,6	2,3,4,5	1,2,3,4,5,6	1,2,3,4,5
36	看護診断技術論(フィジカルアセスメント)	2,3,4	2,3,4,5,6	変更なし	1,2,3,4,5
37	基礎看護学技術論Ⅰ(生活援助技術・生理的援助技術)	2,3,4,6	2,3,4,5	1,2,3,4,5,6	1,2,3,4,5
38	基礎看護学技術論Ⅱ(診断治療に伴う技術)	2,3,4	2,3,4,5	変更なし	1,2,3,4,5
39	看護過程論	2,3,4,5,6	2,3,4,5	1,2,3,4,5,6	1,2,3,4,5
40	地域・在宅看護概論	2,5,6	2,3,4,5,6	変更なし	1,2,3,4,5,6
41	地域・在宅看護技術論Ⅰ	2,4,5,6	2,3,4,5	1,2,3,4,5,6	1,2,3,4,5
42	地域・在宅看護技術論Ⅱ	2,3,4,5,6	2,3,4,5	1,2,3,4,5,6	1,2,3,4,5
43	成人看護学概論	2,5,6	2,3,4,5,6	変更なし	1,2,3,4,5,6
44	成人看護学技術論Ⅰ	2,3,4	2,3,4,5	変更なし	1,2,3,4,5
45	成人看護学技術論Ⅱ	2,3,4	2,3,4,5	変更なし	1,2,3,4,5
46	老年看護学概論	2,5,6	2,3,4,5,6	変更なし	1,2,3,4,5,6
47	老年看護学技術論Ⅰ	2,3,4	2,3,4,5	変更なし	1,2,3,4,5
48	老年看護学技術論Ⅱ	2,3,4	2,3,4,6	変更なし	1,2,3,4,5
49	小児看護学概論	2,5,6	2,3,4,5,6	変更なし	1,2,3,4,5,6
50	小児看護学技術論Ⅰ	2,4	2,3,4,5	変更なし	1,2,3,4,5
51	小児看護学技術論Ⅱ	2,4	2,3,4,5	変更なし	1,2,3,4,5
52	母性看護学概論	2,5,6	2,3,5,6	変更なし	1,2,3,4,5,6
53	母性看護学技術論Ⅰ	2,4	2,3,4,5	変更なし	1,2,3,4,5
54	母性看護学技術論Ⅱ	2,3,4,6	2,3,4,5,6	1,2,3,4,5,6	1,2,3,4,5
55	精神看護学概論	2,5,6	2,3,4,5,6	変更なし	1,2,3,4,5,6
56	精神看護学技術論Ⅰ	2,4,5	2,3,4,5	変更なし	1,2,3,4,5
57	精神看護学技術論Ⅱ	変更なし	2,3,4,5	変更なし	1,2,3,4,5
58	看護管理学	2,5,6	2,3,4,5,6	変更なし	1,2,3,4,5,6
59	災害看護学	2,5,6	2,3,4,5,6	変更なし	1,2,3,4,5,6
60	医療安全学	2,5	2,3,4,5	変更なし	1,2,3,4,5
61	国際看護学	2,5,6	2,3,4,5,6	変更なし	1,2,3,4,5,6
62	研究方法論	2,4,5,6	2,3,4,5,6	変更なし	1,2,3,4,5,6
63	地元創成看護概論	2,5,6	2,3,4,5,6	変更なし	1,2,3,4,5,6
64	地元創成看護論演習	変更なし	2,3,4,5,6	1,2,3,4,5,6	2,3,4,5,6
65	スタートアップ演習	2,4,5,6	2,3,4,5,6	変更なし	1,2,3,4,5,6
66	基礎看護学特講	2,6	2,3,4,5,6	変更なし	1,2,3,4,5,6
67	臨床看護学特講	2,6	2,3,4,5,6	変更なし	1,2,3,4,5,6

68	クリティカルケア特講	2,6	2,3,4,5,6	変更なし	1,2,3,4,5,6
69	基礎看護学実習 I	2,5,6	2,3,4,5	変更なし	1,2,3,4,5,6
70	基礎看護学実習 II	2,5,6	2,3,4,5	変更なし	1,2,3,4,5,6
71	地域・在宅看護論実習 I	2,5,6	2,3,4,5	変更なし	1,2,3,4,5,6
72	地域・在宅看護論実習 II	2,5,6	2,3,4,5	変更なし	1,2,3,4,5,6
73	地域・在宅看護論実習 III	2,5,6	2,3,4,5	変更なし	1,2,3,4,5,6
74	成人看護学実習	2,5,6	2,3,4,5	変更なし	1,2,3,4,5,6
75	老年看護学実習 I	2,5,6	2,3,4,5	変更なし	1,2,3,4,5,6
76	老年看護学実習 II	2,5,6	2,3,4,5	変更なし	1,2,3,4,5,6
77	小児看護学実習 I	2,5,6	2,3,4,5	変更なし	1,2,3,4,5,6
78	小児看護学実習 II	2,5,6	2,3,4,5	変更なし	1,2,3,4,5,6
79	母性看護学実習 I	2,5,6	2,3,4,5	変更なし	1,2,3,4,5,6
80	母性看護学実習 II	2,5,6	2,3,4,5	変更なし	1,2,3,4,5,6
81	精神看護学実習	2,5,6	2,3,4,5	変更なし	1,2,3,4,5,6
82	総合実習	2,5,6	2,3,4,5	変更なし	1,2,3,4,5,6
83	地元創成看護論実習	2,5,6	2,3,4,5	変更なし	1,2,3,4,5,6

資料2 模擬患者ボランティアの養成に関する資料

帯広大谷短期大学看護学科模擬患者ボランティア養成講座企画書

2022.4.20 (水)

看護学科設置準備室

1. 模擬患者ボランティアを養成するねらい

本学看護学科は、専門科目の各概論と各演習科目を有機的につないで看護学実習に臨めることをねらいとして、学内演習授業にシミュレーション教育を取り入れるカリキュラムとしている。シミュレーション教育のなかでも、模擬患者の協力で展開するシチュエーションベイスド・ラーニングは、学生が臨地実習に近い状況で学ぶことができる。また、模擬患者の協力によるシミュレーション教育は、学生、教員、模擬患者それぞれに教育的効果をもたらすことが報告されていることから、看護学の教育、研究、社会貢献につながることを目指している。

2. 模擬患者ボランティア養成数：毎年度延べ 20 名

開学年度 20 名程度登録していただき、毎年度 5-10 名の養成を追加して毎年度 20 名程度登録者を確保できるようにする。各学年に対して、できるだけ 3 年間続けていただけるように、個別に調整し模擬患者ボランティアを継続的に確保する。

3. 模擬患者ボランティアの年齢層その他の条件

- 1) 模擬患者ボランティアに関心がある人
- 2) 看護学生の育成に関心がある人
- 3) 本学の建学の精神に共感できる人
- 3) 成人期老年期にある人で年齢の下限は問わない。上限は 85 歳程度とする
- 4) 男女を問わない

4. 模擬患者の募集方法 (別紙)

- 1) 本学は開学 60 年を迎えていることから、同窓会会員に呼び掛けてボランティアを志向する会員の協力を得る。
- 2) 帯広市と音更町の広報誌を活用して募集し、応募者の中から依頼する

5. 模擬患者ボランティア養成プログラム (別紙)

6. 模擬患者ボランティアの安全確保

- 1) ボランティア保険：登録者全員が個別に使える保険を本学が負担する
- 2) 模擬患者ボランティアの相談担当教員を置き、心身に無理がかからないよう健康管理の配慮をする

7. 模擬患者ボランティアの受け入れ窓口

登録、辞退、その他の連絡調整は、地域連携推進センターの担当者が担う

8. 模擬患者ボランティアへの補償

学内演習に参加した日の交通費を支給する

以上

2022年度帯広大谷短期大学 模擬患者（SP）ボランティア学習講座

募集要項

1. 目的

ボランティアとして、帯広大谷短期大学看護学科の学内演習に参加するために、シミュレーション教育と模擬患者（Simulated Patient：以下 SP）の役割を理解し、患者役に必要な知識技術を学ぶ

2. 目標

- (1) 看護を学ぶ学生を理解する
- (2) 模擬患者（SP）の役割が分かる
- (3) 模擬患者（SP）の演技を体験する

3. 開催日及び講題

<ファーストステージ>

第1回 2022年 9月 日 14時00分～15時30分

講題 看護ってなあに～フローレンス・ナイチンゲールの紹介を聞く他～

第2回 2022年 9月 日 14時00分～15時00分

講題 教えることの基本となるもの～看護を学ぶこと、教えることの基本を聞く～

第3回 2022年10月 日 14時00分～15時00分

講題 目からうろこのコミュニケーション～傾聴技法：聴くこと、伝えることの演習他～

第4回目以降は別途お知らせします。

4. 開催場所

第1回～第3回 帯広大谷短期大学 講義室

5. 受講資格及び定員

- (1) 模擬患者役に関心のある方（年齢は問いません）
- (2) 看護学生の育成に関心がある方
- (3) 大谷短期大学の建学の精神に共感できる方
- (4) 20名定員（先着順）

6. 申込方法

第1回目の講座は帯広大谷短期大学生涯学習室まで電話またはメールでお申し込み下さい。

電話番号： 0155-45-4600

メールアドレス：

（第1回目の講座のときに、ホームページからの募集ご案内と申込用紙をお渡しします。）

7. 受講料

無料

____年 ____月 ____日

2022年度 帯広大谷短期大学SPボランティア養成講座 申込書

下記の太枠内をすべて記入し、ホームページ、EmailまたはFAX（0155-45-4666）でお申し込みください。申し込みをいただいた後、5日以内に申込確認の連絡をいたします。

フリガナ		性別
お名前		<input type="checkbox"/> 女性 <input type="checkbox"/> 男性
生年月日 (年齢)	年 月 日 () 歳	
ご住所	〒	
自宅電話		
携帯電話		
連絡のつきやすい時間帯 *申し込みをいただいた後、こちらからお電話いたします。連絡の取れる時間帯をお知らせください。 ____時 ~ ____時		
e-mail		
携帯mail		
SPのボランティアに参加する動機や、抱負および本学に期待することなどを自由にご記入ください。		
_____ _____ _____		
*いただいた個人情報は、帯広大谷短期大学模擬患者（SP）養成講座に使用させていただき、適切に管理します。その他の目的に使用することはありません。 *本申し込みをいただいた後、申込者数により帯広大谷短期大学模擬患者（SP）養成講座の受講や、模擬患者（SP）となつていただく方を抽選させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。 *申し込みは、ホームページ、EメールまたはFAXで申し込みください。		
email : FAX : 0155-45-4666		



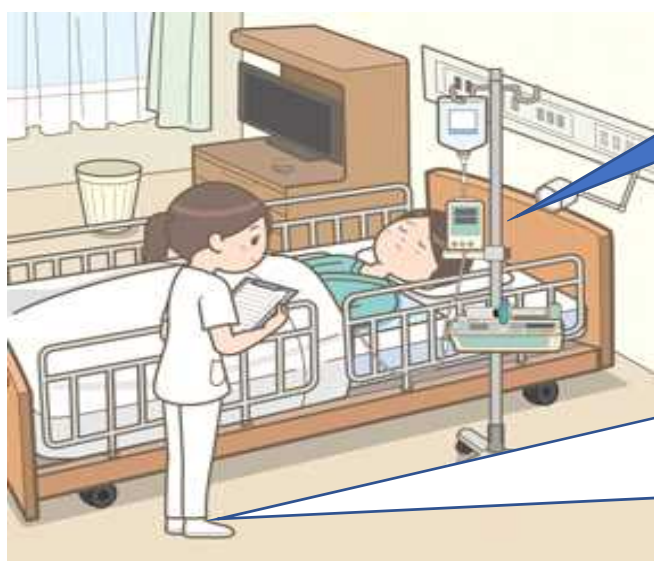
2022 年度

模擬患者(SP)さん

ボランティア募集のご案内

模擬患者さんになりませんか。

こんな人に看護をしてもらいたいなあ…そんなねがいを、一緒に実現しませんか。模擬患者さんは、これから看護学を学ぶ学生にとって、かけがえのない応援団です。学生のシミュレーション教育をご支援いただく模擬患者(SP)ボランティアを募集しております。



すやすや

術後一日目の〇〇▽△さん
おはようございます…
本日受け持ちさせていただく山川京子です。
今はお休みのようですね。静かにしますので、
いろいろ観察させていただきますね。

- 1.帯広大谷短期大学では看護学科を開設予定です。
- 2.看護学教育にシミュレーション教育を取り入れていきます。
- 3.模擬患者について

模擬患者は、看護学生がコミュニケーションや、身体診察や観察、日常生活の援助などを学内演習で学ぶ際に、相手となる「患者さんの役」です。あらかじめ作ってあるシナリオ（台本）のとお

りに役作りをして①演じるので模擬患者といいます。英語で「Simulated Patient」、通称 SP さんといいます。②コメント（フィードバック）するときは、態度や言葉遣い、心地よさなど、よかった「ことがら」と「その時の気持ち」を伝えます。養成講座では、この演じることとフィードバックを実際に練習していきます。

看護学や看護の実践を具体的に知り、コミュニケーションについても楽しみながら学び、体験していきます。本養成講座ファーストステージの1回目から3回目は説明会を兼ねております。関心を持たれた方は是非足をお運びください。ご都合が合わない場合でも、いつでもお問い合わせください。受講料は無料です。

3. 模擬患者養成講座の申し込み

申し込み ➡ 電話連絡 ➡ 説明 ➡ SP 登録確認 ➡ SP 養成講座

Step1: お申込み～ホームページ、email、または FAX でお申し込みください。

Step2: お申し込みの確認を兼ねて5日以内にこちらからお電話を差し上げます。

Step3: 説明～ベーシック講座の初回に説明をいたします。

Step4: SP 登録～養成講座受講後に SP として活動できることを確認いたします。

Step5: SP 養成講座～ベーシック・ステージは3回行います。詳細は別紙プログラムです。

4. 応募資格：年齢、性別、その他の資格を問いませんが、教える姿勢ではなく共に学ぶことに興味がある方、学生の入学から卒業まで3年～数年単位でご協力いただける方。

5. 募集期間：2022（令和4）年9月〇日（△）～2022（令和4）年9月〇日（△）

お問い合わせ先

〒080-0335 音更町希望が丘3番地3 帯広大谷短期大学 生涯学習室 担当 加藤

TEL：0155-45-4600

帯広大谷短期大学看護学科シミュレーション教育

模擬患者 (Simulated Patient: SP) 養成プログラム

2022.4.20(水)

I. 模擬患者とは

本学のシミュレーション教育において、教育的役割を果たす模擬患者（以下 SP）とは、「コミュニケーション、フィジカルアセスメント、看護技術等の演習のために、あらかじめつくられたシナリオ（台本）を覚えて、学生指導の協力者としての役割を果たす地域住民によるボランティア」である。SP に期待される願いは、学生が科目の学修目標達成に向けて行う「学内演習」で、実際の看護場面や状況に近いシナリオで演技をしてもらい、学生・教員と共に学ぶ機会をつくることである。

II. SP 養成講座プログラム

1. 目的

模擬患者（Simulated Patient：以下 SP）として学内演習に参加する

2. 目標（ねらい）

- (1) 看護を学ぶ学生を理解する
- (2) 模擬患者（SP）の役割が分かる
- (3) 模擬患者（SP）の演技を体験する

3. 講座の内容

- (1) 講座の運営は、教員が担当する

(2) ファーストステージ3回、ベーシックステージ3回、ブラッシュアップステージ3回
の全9講座で修了する。

(3) 各講座にはファシリテーターと教員が参加し質問や疑問を話しやすい場をつくる

4. 模擬患者ボランティア初回登録

ベーシックステージ第3回目終了後から登録の受付を始めます。

<ファーストステージ：第1～3回の講座>

目標（ねらい）：看護を学ぶ学生を理解する

【第1回講座内容】

1. 看護ってなあに

(1) 座学でフローレンス、ナイチンゲールの紹介

(2) ビデオ「キラリ、看護の仕事ー看護学生の一日」視聴

座学と 演習と実習で学ぶ看護学生の紹介

(3) 看護学生のイメージを話し合う

【第2回講座内容】

1. 教えることの基本となるもの： 模擬患者はどんなことをするの

(1) 学生が模擬患者の協力で学ぶ演習のビデオ視聴

(2) 模擬患者体験談紹介

(3) 模擬患者役のイメージを話し合う

【第3回講座内容】

1. 目からうろこのコミュニケーション：聴き方、伝え方の基本をやる
- (1) 参加者がペアになり、シナリオに沿って話し手の役と聴き手の役を体験する
- (2) ペア同士で体験した状況を振り返り感想を話し合う
- (3) 学生が学ぶコミュニケーション技法について話し合う

<ベーシックステージ：第1～3回の講座>

目標（ねらい）：模擬患者（SP）の役割が分かる

【第1回講座内容】

1. ビデオを観て模擬患者（SP）と学生のやりとりの場面をイメージする
2. 模擬患者役について話し合う

【第2回講座内容】

1. シナリオの理解
- (1) シナリオを読み演技のポイントを理解できる

【第3回講座内容】

1. シナリオに沿って演技を試みる

<ブラッシュアップステージ：第1～3回の講座>

目標（ねらい）：学生の看護演習に参加し模擬患者（SP）体験を複数回繰り返し経験する

【第1回講座内容】

1. 学生同士が患者役と学生役で行う演習を見学する①

【第2回講座内容】

1. 学生同士が患者役と学生役で行う演習を見学する②

【第2回講座内容】

1. 学生の演習で模擬患者役を複数回体験する

Ⅲ. SP 養成講座スケジュール

<表Ⅰ SP 養成講座ファーストステージのスケジュール> (令和4年9月～10月)

	月日/時間	テーマ	内容
1 回	9/ 14:00-15:30	1.看護ってなあに	<ul style="list-style-type: none"> ・ナイチンゲールの紹介を聞く ・「キラリ看護の仕事」動画を見る ・看護学生のイメージを話し合う
2 回	9/ 14:00-15:30	1.教えることの基本となるもの 模擬患者はどんなことをするの	<ul style="list-style-type: none"> ・看護を学ぶこと、教えることの基本について講義を聞く ・模擬患者体験談を聞く ・模擬患者のイメージを話し合う
3 回	10/ 14:00-15:30	・目からうろこのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・聴き方、伝え方の演習体験 ・ペア同士で体験した感想を話し合う ・学生が学ぶコミュニケーション技法を話し合う

<表2 SP 養成講座ベーシックステージのスケジュール> (令和4年11月~12月)

	月日/時間	テーマ	内容
1 回	11/ 14:00-15:30	1.ビデオを観て、場面をイメージする 2.患者役について話し合う	・ビデオを観てそれぞれが感じたことを話し合う ・患者役の意味や期待を話し合う
2 回	11/ 14:00-15:30	1.シナリオの理解	・複数のシナリオを読んで模擬患者(SP)の立場をイメージしてグループで話し合う ・シナリオが示している模擬患者(SP)を複数回体験して、学生が演習することをイメージしグループで話し合う
3 回	12/ 14:00-15:30	1.シナリオに沿って演技を試してみる	・教員が学生役の場面で、模擬患者はシナリオに沿って演技をする ・演技後にグループでふり返りをする

<表3 SP養成講座ブラッシュアップステージのスケジュール> (令和5年4月～5月)

回	月日/時間	テーマ	内容
1 回	4/ 14:00-15:30	・1年生の学生が患者 役をする演習見学①	・学生が患者役をする演習を見学 して模擬患者（SP）の動きを イメージする ・模擬患者の言動から学生の学習 につながることを話し合う
2 回	4/ 14:00-15:30	・1年生の学生が患者 役をする演習見学②	・学生が患者役をする演習を見学 して模擬患者（SP）の動きを イメージする ・模擬患者の言動から学生の学 習につながることを話し合う
3 回	5/ 14:00-15:30	・1年生の演習で模擬 患者になって演技を体 験する	・演習の授業で模擬患者役経験を 繰り返す ・学生の振り返りの場で模擬患者 として感じたことを学生に伝える

資料3 ファシリテーター研修内容

1. 集合研修

専任教員が講師となり、帯広大谷短期大学内で実施する。

		内 容
第1日	午前	講義 <ul style="list-style-type: none"> ・帯広大谷学園の理念 ・看護学科の教育の特徴 ・模擬患者参加型演習におけるファシリテーターの役割について等 学内見学（実習室含む）
	午後	体験学習 <ul style="list-style-type: none"> ・模擬患者参加型演習 （教員が模擬患者になり研修参加者が学生役） 演習 <ul style="list-style-type: none"> ・シミュレーション教材作成の計画立案（基礎看護学技術論Ⅰ・Ⅱ）
第2日	午前	講義 <ul style="list-style-type: none"> ・臨地実習とは何か ・本学の実習の特徴 ・看護学実習指導要項の説明 ・実習指導の実際 動画視聴 「看護学生のための初めての实習ガイド」（医学映像教育センター）
	午後	演習 <ul style="list-style-type: none"> ・実習指導計画の作成（基礎Ⅰ実習） 体験学習 <ul style="list-style-type: none"> ・受け持ち患者決定のための調整 （教員が模擬患者、研修参加者が実習インストラクターとなり、看護学臨地実習の説明と同意の取得を行う）

2. 職場内研修（OJT）

集合研修のあと、専任教員と一緒に業務を行い、期待される役割に必要な知識・技術を体験的に習得する。また、演習科目、実習科目に従事する際は、事前に科目責任者から科目の概要や業務についてオリエンテーションを行う。

臨地実習の前には、必要に応じ実習病院での研修を行う。

資料4 令和7年度 学内授業・臨地実習計画表

祝日 長期休暇 ■:学内授業(講義・演習・実験・実習科目) ●:実習担当(巡回指導・学内指導) 研:研究日

本計画表では、看護学科専任教員のうち年間15コマと最も授業担当科目数の多い教員について、学内授業時間と実習指導時間を一覧化した。令和7年4月1日(火)から9月28日(日)までを前期、9月29日(月)から令和8年3月31日までを後期とする。

領域	職位	氏名	4月																													
			1週目					2週目					3週目					4週目					5週目									
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
			火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
基礎看護学	教授	山川京子																														
			A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P

領域	職位	氏名	5月																															
			1週目					2週目					3週目					4週目					5週目											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
			木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
基礎看護学	教授	山川京子	研	研																														
			A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P

領域	職位	氏名	6月																															
			1週目					2週目					3週目					4週目					5週目											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
			日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月		
基礎看護学	教授	山川京子																																
			A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P

領域	職位	氏名	7月																															
			1週目					2週目					3週目					4週目					5週目											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
			火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
基礎看護学	教授	山川京子																																
			A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P

資料4 令和7年度 学内授業・臨地実習計画表

祝日 長期休暇 ■:学内授業(講義・演習・実験・実習科目) ●:実習担当(巡回指導・学内指導) 研:研究日

本計画表では、看護学科専任教員のうち年間15コマと最も授業担当科目数の多い教員について、学内授業時間と実習指導時間を一覧化した。令和7年4月1日(火)から9月28日(日)までを前期、9月29日(月)から令和8年3月31日までを後期とする。

領域	職位	氏名	8月																															
			1週目				2週目					3週目					4週目					5週目												
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
			金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
			A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P
基礎看護学	教授	山川京子																																

領域	職位	氏名	9月																															
			1週目				2週目					3週目					4週目					5週目												
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
			月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火		
			A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P
基礎看護学	教授	山川京子																																

領域	職位	氏名	10月																															
			1週目				2週目					3週目					4週目					5週目												
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
			水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
			A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P
基礎看護学	教授	山川京子																																

領域	職位	氏名	11月																														
			1週目	2週目					3週目					4週目					5週目					6週目									
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
			土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
			A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	A	P	
基礎看護学	教授	山川京子																															

資料4 令和7年度 学内授業・臨地実習計画表

祝日 長期休暇
 ■:学内授業(講義・演習・実験・実習科目)
 ●:実習担当(巡回指導・学内指導)
 研:研究日

本計画表では、看護学科専任教員のうち年間15コマと最も授業担当科目数の多い教員について、学内授業時間と実習指導時間を一覧化した。
 令和7年4月1日(火)から9月28日(日)までを前期、9月29日(月)から令和8年3月31日までを後期とする。

領域	職位	氏名	12月																														
			1週目					2週目					3週目					4週目					5週目										
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
			月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
基礎看護学	教授	山川京子	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	
			●	●	●	●	●					■												■				研	研				
			(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(13)																(11)		(12)	(7)	(13)	(14)				
			3年生 地元創成看護論実習					3年生 総合実習																									

領域	職位	氏名	1月																														
			1週目					2週目					3週目					4週目					5週目										
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
			木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
基礎看護学	教授	山川京子	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	
								■	■																								
								(12)	(7)	(13)	(14)	研	研																				

領域	職位	氏名	2月																														
			1週目					2週目					3週目					4週目					5週目										
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28			
			日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			
基礎看護学	教授	山川京子	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	

領域	職位	氏名	3月																															
			1週目					2週目					3週目					4週目					5週目											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
			日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
基礎看護学	教授	山川京子	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M		

担当科目一覧

教員氏名：山川 京子
職 位：教授
担当領域：基礎看護学

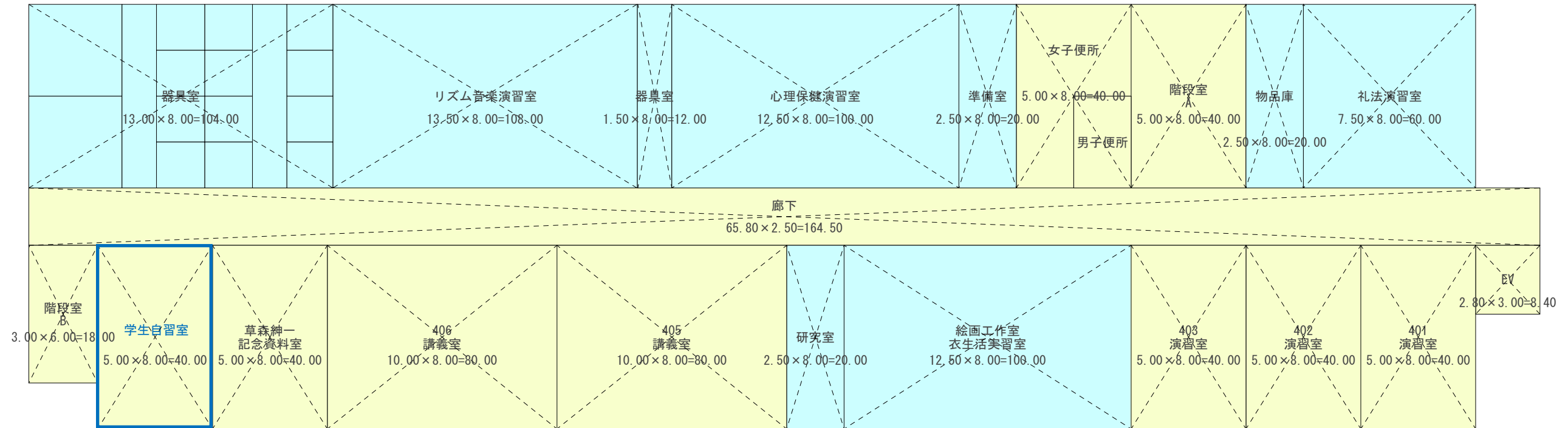
科目 番号	科目名称	開講期	担当コマ数	開講日																							
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
①	看護学概論	1年前	10/15コマ	4/7	4/14	4/21	4/28	6/9	6/16	7/7	7/14	7/28	8/4														
②	看護管理学	3年前	8/8コマ	4/7	4/7	4/21	4/28	4/28																			
③	基礎看護学特講	3年前	※ 審査意見4を踏まえ担当科目から削除																								
④	基礎看護学技術論Ⅰ	1年前	20/30コマ	4/15	4/15	5/13	5/13	5/27	5/27	6/3	6/3	6/10	6/10	6/17	6/17	6/24	6/24	7/8	7/8	7/22	7/22	7/22	7/22				
⑤	スタートアップ演習	2年前	※ 審査意見4を踏まえ担当科目から削除																								
⑥	援助の人間関係論	1年前	15/15コマ	4/9	4/16	4/23	4/30	5/7	5/28	6/4	6/11	6/18	6/25	7/2	7/9	7/16	7/23	7/30									
⑦	研究方法論	3年通	11/15コマ	5/7	6/4	6/4	8/6	8/6	8/7	8/7	12/24	12/24	1/7	1/7													
⑧	哲学	1年前	8/15コマ	5/30	6/6	6/13	6/20	6/27	7/4	7/11	7/18																
⑨	看護診断技術論	1年通	24/30コマ	4/25	4/25	4/25	5/9	5/9	5/9	5/23	5/23	5/23	6/6	6/6	6/6	10/10	10/10	10/10	10/17	10/17	10/17	10/24	10/24	10/24	10/31	10/31	
⑩	医療安全学	2年前	2/8コマ	4/7	4/14																						
⑪	看護課程論	1年後	12/15コマ	10/27	11/10	11/17	11/17	12/22	12/22	1/26	1/26	2/2	2/2	2/9	2/9												
⑫	基礎看護学技術論Ⅱ	1年後	22/30コマ	10/8	10/8	10/21	10/21	10/28	10/28	11/11	11/11	11/25	11/25	12/23	12/23	1/6	1/6	1/13	1/13	2/3	2/3	2/10	2/10	2/10	2/10		
⑬	地元創成看護学概論	2年後	8/8コマ	11/26	12/3	12/10	12/17	12/24	1/7	1/14	1/14																
⑭	地元創成看護論演習	2年後	15/15コマ	11/26	12/24	12/24	1/7	1/7	1/14	1/14	1/28	1/28	1/28	1/28	2/4	2/4	2/18	2/18									

実習巡回指導

科目 番号	実習科目名	実習日程
①	基礎看護学実習Ⅰ	1月19日～1月23日
②	基礎看護学実習Ⅱ	5月12日～5月23日
③	総合実習	※ 審査意見4を踏まえ担当科目から削除
④	地元創成看護論実習	12月1日～12月5日

(4) 校舎の平面図

<短大校舎4階>



<短大校舎3階>

